

## Weekend 2014 に沢山の参加申込み有難うございました

“あらたなる感動”をテーマに東京ブランチ 30 周年記念ウィークエンドの参加募集をいたしましたところ、瞬く間に定員に達し期限を前に締切りさせて頂く事態になりました。募集案内が皆様のお手元に届いた日から、申込書の郵送や問合せのお電話・メールなどが殺到しました。郵便受を開けると毎日ドサッと封筒が舞い込み、嬉しい悲鳴を上げました。是非とも参加したいという皆様の熱

意がひしひしと伝わって来て、一足先に“感動”を味わわせて頂きました。ホテル側と折衝を重ね、可能な限り一人でも多くのダンサーの受入に努めました。それでもなおキャンセル待ちの方がおられます。沢山の参加申込みのお礼と共に、お断りせざるを得なかった皆様には心よりお詫びを申し上げます。

セクレタリ 尾崎淳子

## Weekend 2014 講師の紹介

既に紹介した講師のビル・ズベル氏(Mr. Bill Zobel)、ピアニストのムリエル・ジョンストン女史(Ms. Muriel Johnstone)とフィドラーのキース・スミス氏(Dr. Keith B. Smith)に続き、もう 1 人の講師を紹介します。

### ロン・ウォレス氏 (Mr. Ron Wallace)



両親や兄弟、親戚など一族の多くがスコティッシュ・ダンスに深く関わっていた環境の中、ごく早い時期からダンシングやバグパイプ演奏の道に入

った。1977 年にミス・ミリガンの許で指導者資格を取得して以降、世界各地でティーチャーやダンサーのためのクラスやコースの指導を続けて来た。活動の場はセントアンドリュース・サマースクール、TAC サマースクール、英国・ドイツ・スイス・フランス・ノルウェー等のヨーロッパ各国、オーストラリア等々枚挙にいとまがない。2013 年にはティーチャー歴 45 年の記念すべき年を迎えた。地元の米国北カリフォルニアでは、カントリー・ダンス、ハイランド・ダンス、ステップ・ダンス、ハイランド・バグパイプなどのクラス指導を精力的に行い、また SCD バンド“Hood, Wink and Swagger”などで自らディスクアント・リコーダーやバグパイプの演奏も行う。Examiner として RSCDS への貢献も大きい。■

## 会員登録はお済みですか？

みなさんの東京ブランチの会員資格は 3 月で満了いたします。引き続きブランチ会員を継続登

録いただきたく、2 月 5 日付け「会員登録更新のお願い」文書で案内をお送りいたしました。3 月

31日(月)の締切りです。まだ、会員登録が  
済みでない方は、できるだけ早く登録手続きなら

びに会費ご送金をお願い申し上げます。

メンバーシップセクレタリ 細海 修 ■

## 2014年度ランチ・クラス講師の決定について

昨年末に次年度ランチ・クラス指導についてお問合せをいたしました。ご多用中にもかかわらずご対応を頂き厚くお礼を申し上げます。東京ランチ所属ティーチャー81名の中、指導可能26名・辞退42名・返信なし13名という回答結果を得ました。

指導可能のお申し出があった全講師に担当して頂ける様、ご意向に沿って運営委員会で協議検討を重ねました。その結果、下記のとおり2014年度ランチ・クラス講師が決定いたしましたので、お知らせいたします。各ティーチャーの皆様、ご指導どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 2014年度ランチ・クラス講師

クラス名	Beginners Class		Intermediate Class		General Class		
曜日	第2・4月曜日		第1月曜日		第1土曜日		
時間	13:30~16:00		13:30~16:00		18:20~20:30		
2014年	4月	14日・28日	疋田 千鶴子	7日	有田 深雪	5日	有田 典和
	5月	12日・26日		5日	鳥山 豊喜	3日	藤田 節子
	6月	9日・23日		2日	神倉 那智子	7日	鳥山 豊喜
	7月	14日・28日	渋谷 明美	7日	星野 薫	5日	林 浩子
	8月	11日・25日		4日	境 雅子	2日	中田 多鶴子
	9月	8日・22日		1日	長峯 真弓	6日	小山 かおる
	10月	13日・27日	寺山 晶子	6日	渡部 多美子	4日	若松 陽子
	11月	10日・24日		3日	三木 真理	1日	清水 豊
	12月	8日・22日		1日	兼松 千奈美	6日	西森 典子
2015年	1月	12日・26日	浅井 恵子	5日	神倉 那智子	10日	松木 道子
	2月	9日・23日		2日	境 雅子	7日	鈴木 百代
	3月	9日・23日		2日	田中 弘美	7日	富谷 佐千子

#### 付記：

- お申し出により、五十嵐成子さんに今年度ビギナーズ・クラスのアシスタントをお勤め頂くことになりました。
- ミュージシャンを依頼する場合は、委員会の了承が必要になります。セクレタリ尾崎淳子まで早目にご連絡頂きますようお願いいたします。

◇今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。 ■

---

## 秋の Social Dancing 模様

2013年11月30日(土)13:30から赤羽会館で青山るりさんのピアノ演奏(一部CD)、近藤幸子さんと中田多鶴子さんのMCにより開催されました。参加者は61名でした。



ダンス模様



近藤さん・青山さん・中田さん

## New Year Dance 2014 模様

1月13日(月・祝)13:00から赤羽会館で、小海弘子さん(ピアノ)、大森ヒデノリさん(フィドル)、4名のMC石田由美さん・岡玲子さん・工藤祐享さん・三木眞理さんにより開催しました。埼玉ランチのパーティーと同時開催となりましたが151名の参加があり盛り上がりました。



石田さん

岡さん

三木さん

工藤さん

---

## ご協力ありがとうございます

昨年11月30日のSocial Dancingおよび今年1月13日のNew Year Dance開催に際して、赤羽SCDC

の五十嵐成子さん・眞庭成子さん・細谷光子さんに多大なご助力を頂きました。心よりお礼を申し上げます。

---

## 運営委員会報告

2013年11月2日

1. Weekend 2014 関連。2クラス制とし、もう1名の講師を追加依頼する。全体の経費を試算し参加費を検討する。
2. Social Dancing 2013 の最終打合せを行なった。
3. New Year Dance 2014 の詳細打合せ。今回は参加費を会員1500円・非会員1700円とする。
4. ブランチ・クラス会場は前もって学校行事を確認し、重複する場合は他の会場をあたる。
5. 9月28日に行われたBook 47講習会の結果報告を行なった。参加者はランチ会員56名、非会員7名、見学1名、計64名(他講師・役員7名)。
6. 本部関連の報告。Youth Services Committeeよりティーチャー登録の依頼があり東京ランチ所属ティーチャー53名のデータを提出した。

---

AGMの年会費値上げ動議に対し、代議員に反対投票を依頼した。Book 49 応募ダンスを提出した。

7. 次期ランチ委員の候補者を挙げた。今後チェアマンから打診する。

#### 2013年12月7日

1. Weekend 2014 関連。2人目講師にロン・ウォレス (USA) が決定。講師・ミュージシャン4名に航空チケットの購入を促進する。参加者が120名に達した場合は送迎バス3台が必要。
2. 11月30日開催の Social Dancing 2013 の総括を行なった。参加者47名 (他 MC2名・ミュージシャン1名・赤羽 SCDC3名・役員8名)。時間が余り気味だったので Extra の用意が必要。
3. New Year Dance 2014 の最終打合せを行なった。赤羽 SCDC に応援および備品の借用を依頼する。当日の役割分担、準備の段取りを決めた。開催前の9時から1月度役員会を行う。
4. 次年度ランチ・クラス講師依頼問合せは全ティーチャー81名宛に12月1日発送済。
5. ブランチ・レターNo.97は2月発行予定。アン・ディックス追悼文を鳥山さんに依頼する。
6. 10月実施の Unit 1 試験は全員合格 (斉藤昭夫さん・柳川ともみさん～以上東京ランチ・猪口英彦さん～東海ランチ)。2014年2月の Unit 1 試験は申込者がなく実施しない。
7. 会員7名よりマガジン不着の連絡。本部に対応を依頼すると共に抗議を行なった。

#### 2014年1月13日

1. Weekend 2014 関連。参加募集案内の詳細を確認した。講師・ミュージシャンのホテルは5月22日を東京または新宿周辺、5月25日を成田周辺とし手配する。ウェルカム・パーティおよびアニバーサリー・ボールの曲目を検討、チェアマンと清水委員が選曲する

2. New Year Dance 2014 の最終確認を行った。
3. ブランチ・クラス関連。次年度の講師依頼は発送81名の中、指導可能26名・辞退42名・返信なし13名という回答結果。各クラス担当者の最終調整を行った。1月末までに決定し担当講師に通知する。ランチ・クラス会場(神田および童夢館)の団体登録を更新した。
4. ブランチ・レターNo.97の原稿締切りは2月10日、発行・印刷所入りは2月20日を予定。アン・ディックス追悼文および新CDブック紹介は鳥山さんより入手済
5. 本部関連。本部へ30周年 Anniversary を通知済。マガジンに Weekend 2014 を掲載依頼済
6. ブランチ・レターNo.96で広報の JEC 2016 受験希望者は申出なし
7. 資格所有者佐藤峯子さん(大分県別府市)逝去の報告

#### 2014年2月1日

1. Weekend 2014 関連。申込状況報告、既に定員に達しているため1月31日付で申込み締切りとする。ダンス・プログラムが決定された(ウェルカム・パーティ～清水委員・アニバーサリー・ボール～チェアマン)。ドレスコードを定める必要
2. New Year Dance 2014。参加者総計151名(含ミュージシャン2名・MC4名・赤羽 SCDC3名・役員8名)。非会員の参加が45名あった。収支報告が行われた。
3. ブランチ・クラス関連。次年度講師決定通知は1月25日に発送済。ランチ・クラス会場代表者(童夢館・小林久美子さん/神田スポーツセンター・田村恵美子さん)に謝礼を送る。
4. Book 49 予備審査。本部より予備審査参加の問合せ(申込締切り2月末/1ランチ6～7ダンス/審査結果締切り10月24日)。参加申込みを行う。審査方法は今後検討する
5. 2014年2～3月の予定。2月2日開催の3ブラ

---

ランチ合同会議で本部会費円額を決定する。会員登録案内発送（締切り 3 月 31 日）。ランチ賞推薦状発送（締切り 3 月 15 日）。年次総会予定を 6 月 7 日（土）とし会場確保にあたる。

6. 本部関連。1 月 25 日付 Branch Mailing の報告。次年度からの年会費値上げ通知など。ブラン

チ・コンタクト（本部とランチの橋渡し役）Elizabeth Harry から挨拶。RSCDS チェアマンから 30 周年お祝カード届く。

7. ティーチャー対象とする新マニュアル講習会開催の検討。4 月中または 5 月前半予定。 ■

---

## ランチクラスで取り上げたダンス

### 1. ビギナーズ クラス

11 月 11 日 講師 鳥山 豊喜

1. Sugar Candie (S32) Book 26
2. All the Eights (J32) Leeds Golden C.
3. The Stoorie Miller (S32) Book 21

11 月 25 日 講師 鳥山 豊喜

1. The Stoorie Miller (S32) Book 21
2. Maxwell's Rant (R32) Book 18
3. Dalkeith's Strathspey (S32) Book 9

12 月 9 日 講師 鳥山 豊喜

4. Dalkeith's Strathspey (S32) Book 9
1. Miss Welsh's Reel (J32) Gr
2. Balquidder Strathspey (S32) Book 24
3. Wedderburn's Reel (R32) Gr

12 月 23 日 講師 鳥山 豊喜

1. The White Cockade (R32) Book 5
2. Seann Truibhas Willichan (S32) Book 27
3. The Hollin Buss (J32) Book 24
4. Balquidder Strathspey (S32) Book 24

2014 年

1 月 27 日 講師 篠塚 昌子

1. Espie McNabb (J32) MMM
2. Snowdrops in the Glen (R32) R. Beattie
3. 12 Coates Crescent (S32) Book 40

2 月 10 日 講師 篠塚 昌子

1. The Greenbelt Jig (J32) E. Brunken
2. Ladies' Fancy (J32) Book 13
3. Fair Donald (S32) Book 29
4. The Piper & the Penguin (R88-SQ) R. Goldring ■

### 2. インターミディエイト クラス

11 月 4 日 講師 渋谷 明美

1. The Saltire Society Reel (R32) RSCDS-L
2. Autumn in Appin (S32) Book 31
3. Follow Me Home (J32) Book 38

12 月 2 日 講師 兼松 千奈美

1. Road to Mallaig (S32) Book 36
2. The Chairman (R32) J. B. Dickson
3. Halfway Home (J32) Skelton
4. Wait for it (R32) R. I. Burrows
5. ジングルベル

2014 年

1 月 6 日 講師 鈴木 百代

1. Da Rain Dancin' (R32) R. Wallace
2. The Mentor (S96-SQ) Book 47
3. Rodney's Rant (J32) QE Diamond Jubilee Dances

2 月 3 日 講師 神倉 那智子

1. The Chequered Court (J32) Book 42
2. The Dancers' Wedding (R32) Book 41
3. Barbara's Strathspey (S32) Book 46 ■

### 3. ゼネラルクラス

12 月 7 日 講師 小山 かおる

1. Miss Bennet's Jig (J32) Book 20
2. Delvine Side (S32) Book 2
3. The Bishop of Columbus (R32) T. Glasspool
4. Swirling Snow (S32) R. Taylor
5. Kamo Karousel (J32) E. West

2014 年

1 月 11 日 講師 鳥山 豊喜

1. At The Top of The Hill (J32) Dix

2. Indian River Strathspey (S32-Triangular) Senyk
3. The World Turned Upside Down (R32) Boyd
4. Emmett's Chase (J32) Brenchley
5. Burns Bicentenary Strathspey (S32) Drewry
6. The Reel of The 51<sup>st</sup> Division (R32)

## Book 13

- 2月1日 講師 清水 豊
1. Bon Accord (R40) Drewry
  2. Bratach Bana (R32) Drewry
  3. Matsu Shima(松島) or Pine Tree Islands (S64) Drewry

## 追悼－アン・ディックス

トム鳥山

RSCDS 年次総会 2013 で本部功労賞を授与されることになっていたアン・ディックスは、11月1日、年次総会の前日にこの世を去った。

サマースクール 2013 でエギザミナーズ・セミナーが開催され、アンもその中にいて、顔いろはよいといえなかったが(もともと顔いろのよいひとではなかった)、元気そうに見え、3カ月後に訃報を聞くとはい思ってもよらなかった。聞くとこころでは相当前から肺がんであったという。



20年くらい前に彼女から直接ダンスブック、カセットを購入したのが彼女とのつながりのはじまりであった。わたしは1997年5月、レディング Reading における BHS ボーダーブランチのボールに参加した。そのボールで彼女は「トム、わたしがアンよ」と自己紹介してくれた。背の高い人だな、というのが第一印象であった。

その後サマースクールでも彼女に会うようになり、直接教えられる機会はなかったが、アドバンストやさらに上級のクラス受講生からアンの評判を聞き、東京ブランチにいつの日か呼びたいと思うようになった。

2003年春、ブランチ委員会は翌年のウィークエンドを20周年記念行事の一つとして外国人講師を招いて大々的に開くことを決め、日程・会場の検討を開始し

た。わたしは講師にアンを推挙し、委員会の了承を得たのである。日程・会場は当初の計画から2005年1月、鎌倉プリンスホテルに大変更されたが、五十嵐成子チェアマン指揮のもと、講師アンとレイチェル・ウィルトン、ミュージシャンはデーブ・ホールとジュディス・スミス(さらに小海弘子さんの飛び入り参加)という陣容で20周年ウィークエンドは大成功を収めた。



初めての日本訪問でアンがダンシング以外で得た印象は、どこに行っても洗浄装置付き暖房便座あること、鎌倉報国寺の竹林、東京駅に到着した新幹線の車内清掃の手際よさ、関西空港近くのホテルで53階の部屋に泊まったことなどがあげられる。ウィークエンドを記念してアンは32小節のリール、'Shinkansen'をプレゼントしてくれたが、当初のタイトルは'Shin-kansen'とハイフン入りで、現物にはそれが無いことを知り、訂正したいきさつもあった。

その後アンは2007年(東京ブランチ・ウィークエンド)と2010年(ユニット2 & 3のチューター)に来日し、さらに日本人ダンサーとの交友を広くし、深めた。

2011 年秋、アンから呼吸器系に問題があつて指導、ダンシングを控えていると連絡され、以後神田明神・湯島天神をはじめ、東大寺、高山寺(京都)、竜宮神社(鹿児島)など行く先々の寺社で彼女の平癒を願っていた。

アンは1942年11月24日に生まれ、2013年11月1日に亡くなった。彼女の微笑、正確な指導とダンシ

ング、踊りやすい新ダンスにも出会えなくなった。あまりに惜しく、残念でならない。天上界があるとすれば、アンはそこでもきれいなステップを示しながら、彼女のモットー「ダンスではなくダンシングを指導する」のもとに、ビギナーズからデモ・チームまでクラスを続けていることだろう。

## 本部からのお祝いメッセージ

RSCDS会長のジョン・ウイルキンソン氏 (Mr. John Wilkinson) から、東京ブランチ創立30周年に対して右のメッセージが寄せられました。

## 海外情報

### \* Leeds Branch より White Rose Festival の案内

2014年7月12日にLeeds近郊で開催。

詳細は

<http://tinyurl.com/owonk3e> または  
[glyn.cup@virginmedia.com](mailto:glyn.cup@virginmedia.com) まで。



## 新 CD・Book 紹介

これまで新しいブック・CDが出るたびにブランチ会員にそれらを紹介してきた。ほとんどのダンスは一過性であり、繰り返し踊られる機会はないのではなかろうか。クラスはRSCDSのダンスで十分楽しんでいる、というグループは多いと思う。そのような現状を知りながら新ブック・CDを紹介するのはためらいがあるけれども、新しい素材

Tom Toriyama

を外国から入手できるグループのみが、新しいダンスや音楽の楽しみを享受する、というのは好ましいことではないと思う。新ブック・CDを購入する、しないはそれぞれの自由であり、「紹介はもういいよ」との声があがるまで、ブランチ・ショップ担当には多大なご苦勞をかけるが、本欄を続けていくつもりである。

### (1) Moments in Time (SSCD31) – CD およびブック

Jim Lindsay, Keith Smith and Muriel Johnstone



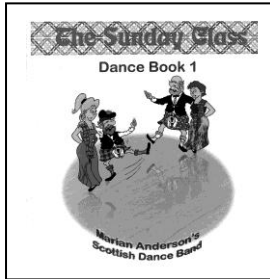
A Wee Nothin'/More than Nothin' (J 8x32), Haggarty's Brig (S 8x32), The Pawling Porch/A Double Measure (R 8x32), The Union Jig/The Comeback Jig (J 8x32), Cardross House (S 8x32), The Cast'n Reel (R 8x32), The Silver Hamer/Dr Quarrie's Birthday (S 3x32), The Diamond Quarrie/The Penny Whistle Hornpipe (R 8x32), It's About Time/The Falkirk Lass (S 8x32), The

---

Greenbelt Jig (J 8x32), Pinewoods Transitions (R 8x40), Mr Gallamore's Strathspey (S 4x32), Tine's Jig (J 8x32), The Road to the Border/Four's a Score (R 8x32)

(2) The Sunday Class Dance Book 1 (TSC01MA) – CD およびブック

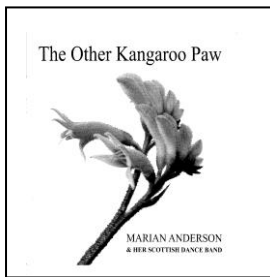
Marian Anderson's Scottish Dance Band



…And the Ladies Wore Red (R 4x32), Anne, Duchess of Waltham (S 80), Six Mile Road from Pitlochry 4x(S 32 + R 32), The Twin's Delight (J 3x32), Summer Sunday Strathspey (S 4x32), History in the Making (R 3x32), The Waltham Ladies (S 64 + R 32), Salute to Lark Hill (J 8x32), Mrs Millar's Strathspey (S 4x32), The Dalston Jig (J 4x40), The Hard Drive (R 8x32), Three Squared (J 9x32) The Rutland Reel (R 8x40), Leaving Lunga (S 4x32), Tribute to Amanda (R 8x32), Ramadan-ce (R 8x32), Barry & Doreen's Continental Capers (R 4x32)

(3) The Other Kangaroo Paw (WACD0002) – CD のみ (ダンス説明書つき)

Marian Anderson's Scottish Dance Band



Warm Up March (March 5x32), Emmett's Chase (J 8x32), A Special Occasion (R 3x48), Far North Queensland (S 5x32), May's 100 (J 8x32), The Anne Archdeacon Reel (R 4x40), Audrey & Peter's Jubilee (S 3x48), The Torridon Cross (J 4x48), The Two Gray Cats (R 8x40), A Highlander in Glasgow (S 4x32), Christine M Phillips (J 8x32), High Society (R 4x40), The Swan & the Tay (S 3x32), Perth Meets Perth (R 4x32), Cool Down Waltz

(1) はアメリカで高名なティーチャー、エレン・ブランケン Elaine Brunken 作の 21 ダンスの CD である。セント・アンドルーズのサマースクールでは CD 完成の遅れによりブックのみが販売されていたが、その後ほどなく CD がリリースされた。25 年前から録音機材更新がなされていないスコットスコア社の CD は、再生すると、か細い音が出てくるのみ、この CD も同様である。

キースのフィドル、ミュリアルのピアノに加え、ジム・リンジーのアコーディオンで演奏されている。フィドル、ピアノにアコーディオンが加わると、演奏の主体はアコーディオンに移り、キースのフィドルは演奏の色あいを豊かにする役割となる。とはいっても録音ミキシングでアコーディオンを弱く、フィドルを強くするトラックもあり、フィドルがすべて補完的な結果になってい

るわけではない。ジム・リンジーは RSCDS の Book 8 CD を完成させており、ミュリアルはかれのアコーディオンを好んでいるように思える。曲は大部分、ミュリアル自身のものでトラディショナルからなっている。演奏時間はいつものとおり長く、8x32 strathspey で 8 分 48 秒、8x32 reel で 4 分 52 秒である。私は The Pawling Porch、Cardross House、Tine's Jig が好演奏と思う。CD ケースは紙製。

ダンスブックは、RSCDS の用語集、表現に拠っておらず、ちょっと戸惑う。アメリカでは women を ladies、chase を track、hands round and back を circle round and back というようだ。作者は hands round and back が好みのもので、21 ダンス中 8 ダンスにこれを用いている。

The Cast'n Reel の bars 1 -8 は理解に苦しむ書



き方になっており、作者に問い合わせたところつぎのように踊ってほしいとのことである。

1-4 1C cast off and dance down behind own sides.

5-7 1C cast up and dance back to top place.

8 1C turn half way giving LH.

いろいろバラエティに富んだムーブメントがあり、楽しいダンスが多い。ブックは楽譜つき。〔注文略号：モーメンツ・セット（ブック+CD）およびモーメンツ・ブックのみならびにモーメンツ CD のみ〕

(2) はイングランド、グラントハム Grantham で月 2 回クラスを行なっているグループ、ザ・サンデー・クラスが発行した CD とダンスブックである。ブックと CD を制作するには少なくとも 100 万円を要し、グループがやるには相当な負担となるが、それを乗り越えたのは立派である。リーダーのアマンダ・パートはマリアン・アンダーソン・バンドの CD を出すことが夢で、会員はそれに押し切られた気配も感じられる。

ダンスは Ramadan-ce (ドゥルーリ作) を除き会員が作ったもので、やさしいものから首をかしげるものまでそろっている。ウェブサイトで見ると(ジャケットのイラストも)年を召した会員ばかりなので、踊り疲れる 8x32 strathspey はない。Three Squared は hands round back を 8 回やらねばならず、終わりのほうではランニングですませている会員もいるのでは、と思う。4 ダンスに楽譜がついており、ダイヤグラムがそろって載っているのも便利である。

マリアン・アンダーソン五重奏団の演奏はトラディショナル曲を多く含み、いつもながら軽快で楽しい。Anne, Duchess of Waltham に使われている Highland Cathedral はふつうパイプで荘厳に演奏され、ミス・ギブソンの葬儀にも使われた曲。The Hard Drive の 8 曲はトラディショナル・リールのショーケースで、聞きなれた曲が次々と現れる。Summer Sunday Strathspey と Mrs Millar's Strathspey の各 4 曲はエアであるが、過度に感傷的でないため、他のダンスにも使える。

おもしろいというか、特異なのは Ramadan-ce。踊りはジョン・ドゥルーリがトルコ旅行記念に作ったものである。AA-BB-CC-DD の演奏順序で、

A: Moment Musical #3 (楽興の時 3 番/シューベルト)

B: Tetris Musica (コロブチカ)

C: Hava Nagila (ハバ・ナギラ)

D: Rondo Alla Turca (トルコ行進曲/モーツァルト) からなっており、SCD 原理主義者なら唾棄すべき音楽である。Ramadan-ce はそれほどよいダンスではないので、この演奏は The Irish Rover や Shiftin' Bobbins あたりに使うほうが似合うと思う。

〔注文略号:サンデークラス・セット(ブック+CD)およびサンデークラス・ブックのみならびにサンデークラス CD のみ〕

(3) は西オーストラリア Western Australia ブランチの CD。2006 年に出たダンスブック Kangaroo Paw の続編である。今回は CD ジャケットに新ダンスの踊り方説明書が印刷されているので、ブックの発売はない。ジャケット説明書の文字は小さいので、大きな文字を要する人は同ブランチのウェブサイトから得られる(楽譜も)。

(2) と同じくマリアン・アンダーソン五重奏団の演奏であるが、フィドルはマリー・フィールディングからキース・スミスに代わっている。録音スタジオと録音技師は(2) と同じなのに、さすがはキース・スミス、じつに豊饒な演奏になっている。フィドルの高音が的確に響き、どのトラックもアコーディオンとフィドルの融合が見られるが、とくに Audrey & Peter's Jubilee、そしてミュリアル・ジョンストンの曲を多用した A Highlander in Glasgow が秀逸である。全篇、聞いているうちに体がスイングし、踊りたくなるすばらしい演奏である。オリジナル曲のほとんどはマリアンの作曲である。

さてダンス内容はジョン・ブレンチリーとフランシス・ウォルダックの作だが、ブレンチリー作品集といっても差し支えない。ジョン・ブレンチリーは The Fairbridge Reel (Book 45), Christine M Phillips, High Society (Book 46) にみられるとおり、一筋縄でいかないダンスをつくるひとだが、この作品集では前ブックに比べ、いくらか丸くなっている。Emmett's

Chase は「私、男役しかできないんです」という人に適している。A Special Occasion の Gothenburg's Welcome Setting、The Torridon Cross の 12 小節 Double Reel of Four、A Highlander in Glasgow の Glasgow Highlanders Setting が印象的である。踊り込んだひとにはじつに楽しいダンスと CD 演奏である。[注文略号：カンガルーポーCD]

\* \* \*

以上の品物のご注文は注文略号、数量、金額を明記のうえ、郵便振替 00240-0-63517 東京ブランドでお申し込みください（送料込み）。

モーメンツ・セット（ブック+CD）	¥3,600
モーメンツ・ブックのみ	¥2,300
モーメンツ CD のみ	¥2,800
サンデークラス・セット（ブック+CD）	¥4,600
サンデークラス・ブックのみ	¥2,300
サンデークラス CD のみ	¥3,100
カンガルーポーCD	¥3,000

ショップ担当 松木道子 042-475-9054

michikom-bfd@jcom.home.ne.jp

締切り 4月25日（金）

お渡し予定 5月末

## SCDの選択に関する私の方法

清水 豊

1年間に創られるSCDの数を次のインターネット上のデータベースを使って調べて見ました。

SCD database (<http://my.strathspey.org/dd/inex/>)

期間は2013年1月8日～2014年1月4日までのほぼ1年間です。データベースに登録されているSCDの総数は

2014年1月4日 15,165 ダンス

2013年1月8日 14,520 ダンス

でした。従って1年間に新たに登録されたダンスは645ダンスとなります。このように年間に500以上の

SCD が創作され、データベースに登録され続けていくものと思われます。これだけのダンスが毎年創られますから、ますます踊るダンスの選択がたいへん重要な作業になってきます。特に踊るダンスを取捨選択できる立場にあるグループリーダーの役割はこれまで以上に重要になってくると思います。

私の場合には、前記のSCD databaseのRating（投票による評価）の順位を参考としてダンスを選択しています。それは評価が定まっていなかったダンスをグループ会員に踊らせることは避けたいと思うからです。私自身とダンサーの年齢を考えると評価が定まらないダンスまで踊る余裕がないからです。

このデータベースのRating 順位の精度や信頼性についてはいろいろな意見があると思われますが、私のSCD歴40年の感覚では概ね妥当と判断しています。

2月18日現在のRating 順位のベスト5は

1. The Montgomeries' Rant (R32)
2. Best Set in the Hall (J32)
3. Broadway (S32)
4. Linnea's Strathspey (S32)
5. Gothenburg's Welcome (J32)

となっています。順位は1番から約900番まで付けられています。上位50番位までは大きな変動は少ないのですが、100番以下は激しい順位の入れ替わりが見られます。新しいダンスでも流れがよく、曲想のいいダンスは短期間で上位に登場してきます。

SCDのグループを運営していくうえで、グループが安定し、更なるグループの楽しみ向上を目指すとき“どんなダンスを選択して踊って行くか”は最大の悩みです。どれ位のレベル、どんな音楽、誰の創作、過去のダンス、他のグループのダンスはどうか等々、ダンスを選択するグループの代表や担当者はこれまでは非常に呻吟してきました。しかし、このデータベースを利用するようになってからはグループ活動企画が楽しいものとなってきています。 ■